取扱説明書

SD オーディオプレーヤー

品番 **SV-SD570V**
SV-SD510

保証書付き　上手に使って上手に節電

松下電器産業株式会社　ネットワーク事業グループ
〒 571-8504　大阪府門真市松生町 1 番 15 号

RQT8645-1S
F0306Re1046 (27000Ⓒ)

はじめに

このたびは、SD オーディオプレーヤーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」（46 ～ 53 ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。
本書は SV-SD570V と SV-SD510 を共用しており、SV-SD570V のイラストを使用しております。本書内の写真は、説明のためスチル写真から合成しています。また、本書内の製品姿図・イラスト・メニュー画面などは実物と多少異なりますが、ご了承ください。

もくじ

- 英語のクイックガイドを 59 ページに記載しております。どうぞご利用ください。
- The English Quick Guide is indicated on P59. Refer to the pages if you prefer English.

付属品

付属品をご確認ください。
記載の品番は、
2006 年 2 月現在のものです。

□乾電池ケース(本機専用)★	□ニッケル水素充電式電池★	□ACアダプター(本機専用)★
(RFE0186) ●SV-SD570V のみ付属	(HHF-AZ10S/1H：ケース付) 	(RFEA802J)
□ステレオインサイドホン★ (L0BAB0000206) 	□USB 接続ケーブル★ (K1HA08CD0007) 	□CD-ROM☆ (SD-Jukebox Ver.5.1 Light Edition/ Voice Editing Ver.1.0 Light Edition for D-snap Audio)
□インサイドホン一体型ストラップホルダー★ (-D（オレンジ）RFEV338PADT) (-W（ホワイト）RFEV338PAWT) 	□クリップホルダー★ (-D(オレンジ)RFC0112-D) (-W(ホワイト)RFC0112-W) ●クリップホルダー使用時は、付属のステレオインサイドホンをお使いください。付属品以外のインサイドホンはクリップホルダーを付けると、使用できない場合があります。 **付けかた** **外しかた** 外すときは、本機をしっかり支え、裏面の穴から本機を押して外してください。	

●インサイドホン一体型ストラップホルダーとクリップホルダーは、お買い上げいただいた色のものが 1 種類ずつ付属します。

別売品のご紹介

本革ケース	RP-SB250★
アクティブスピーカー	RP-SPT150★
リモコン付きステレオインサイドホン	RP-HJE55★

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

SD カード（別売）

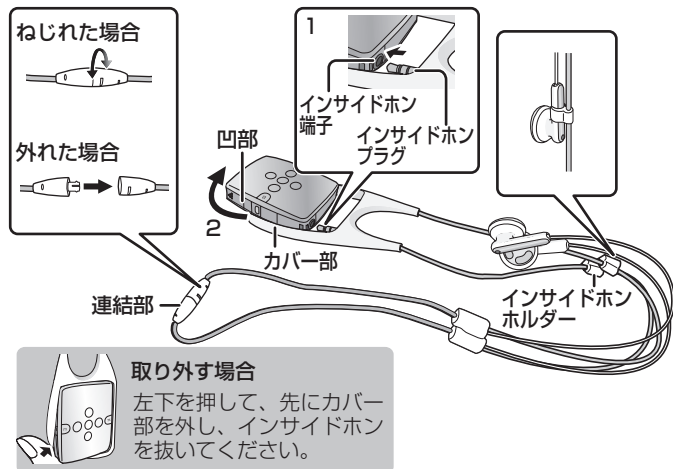
- 本機は SD 規格に準拠した FAT12、FAT16 形式でフォーマットされた SD メモリーカード、miniSD カード（miniSD アダプターが必要です）が使えます。
- 本機では以下の容量（8 MB～2 GBまで）のSDメモリーカードが使用できます。（Panasonic の製品を推奨）

8 MB、16 MB、32 MB、64 MB、128 MB、256 MB、512 MB、1 GB、2 GB まで

- 使用可能領域は表示容量より少なくなります。
- 最新情報は http://panasonic.jp/support/d_snap をご確認ください。
- 本書では SD メモリーカードと miniSD カードのことを「SD カード」と記載しています。

インサイドホン一体型ストラップホルダーを付ける / 外す

ストラップとインサイドホンが一体になったインサイドホン一体型ストラップホルダーを使用すると、よりアクティブに D-snap Audio が楽しめます。

1. **本機のインサイドホン端子にインサイドホン一体型ストラップホルダーのインサイドホンプラグを差し込む**
   - インサイドホンプラグは奥までしっかり差し込んでください。
2. **カバー部を本体側面の凹部にはめる**
   - インサイドホン一体型ストラップホルダーのインサイドホンを使用しないときは、インサイドホンホルダーに取り付けてください。
   - ストラップがねじれた場合は、連結部を回して調節してください。
   - 連結部は強く引くと外れます。外れたときは取り付けてからお使いください。

取り外す場合
左下を押して、先にカバー部を外し、インサイドホンを抜いてください。

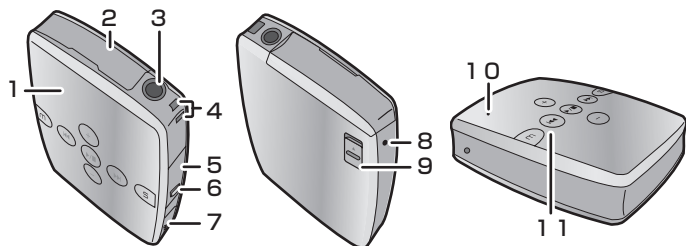
- インサイドホン一体型ストラップホルダーは付属のステレオインサイドホンよりもコードが短いため、FM 放送の受信感度が悪くなる場合があります。（SV-SD570V のみ）
- 本機にインサイドホン一体型ストラップホルダーやクリップホルダーを付けているときは、充電式電池、SD カードの出し入れや、AC アダプター、USB 接続ケーブル、乾電池ケース（SV-SD570V のみ付属）を接続することはできません。

- 本製品におけるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品または SD カードの不具合で録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。
- SD ロゴは商標です。
- miniSD™ は SD アソシエーションの商標です。
- Microsoftおよび Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- WMA（Windows Media™ Audio）とは米国 Microsoft Corporation で開発された圧縮フォーマットです。これにより MP3 より小さいファイルサイズで同等の音質が実現できます。
- MPEG Audio Layer3 音声圧縮技術は、Fraunhofer IIS および Thomson multimedia からライセンスを受けています。
- Portions of this product are protected under copyright law and are provided under license by ARIS/SOLANA/4C.
- Intel、PentiumおよびCeleronはIntel Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- IBMおよびPC/ATは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- Macintosh は、米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Adobe Acrobat、および Acrobat Reader は、アドビシステムズ社の米国および / または各国での商標または登録商標です。
- 音楽認識技術と音楽関連データは Gracenote® によって提供されています。Gracenote および CDDB は Gracenote の登録商標です。Gracenote、CDDB、Powered by Gracenote ロゴおよびロゴ表記は Gracenote の商標です。
- CD and music-related data from Gracenote, Inc., copyright © 2000—2003 Gracenote. Gracenote CDDB® Client Software, copyright 2000—2003 Gracenote.
  米国特許番号 No.5,987,525、No.6,061,680、No.6,154,773、No.6,161,132、No.6,230,192、No.6,230,207、No.6,240,459、No.6,330,593 上記以外のものについては特許出願中。

POWERED BY
gracenote
cddb.

- その他、本文で記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では TM、® マークは一部明記していません。
- This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft Corporation and third parties. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft or an authorized Microsoft subsidiary and third parties.
- Licensed AAC Patents (U.S. patent numbers);

08/937,950	5 752 225	5,235,671	98/03036	08/211,547	5,197,087	5,548,574
5848391	5,394,473	07/640,550	5,227,788	5,703,999	5,490,170	08/506,729
5,291,557	5,583,962	5,579,430	5,285,498	08/557,046	5,264,846	08/576,495
5,451,954	5,274,740	08/678,666	5,481,614	08/894,844	5,268,685	5,717,821
5 400 433	5,633,981	98/03037	5,592,584	5,299,238	5,375,189	08/392,756
5,222,189	5 297 236	97/02875	5,781,888	5,299,239	5,581,654	
5,357,594	4,914,701	97/02874	08/039,478	5,299,240	05-183,988	

各部の名前

1. 表示パネル
   - 直射日光や蛍光灯直下では表示パネルの内容が見えにくい場合があります。
2. カードふた
3. インサイドホン端子
   (∅3.5 mmステレオミニジャック)
4. ストラップ取付部
5. USB 端子ふた［⎌］
6. マークボタン [MARK]
7. 電池ふた
8. マイク[MIC](SV-SD570V のみ)
9. HOLD スイッチ［HOLD]
10. 動作表示ランプ
    点滅：充電中、再生中など (詳しくは54 ページをお読みください)
    点灯：停止中、電源を入れたとき
    消灯：電源を切ったとき、充電完了したとき
11. 操作ボタン

▶/■	再生 / 停止

- 電源の入 / 切にも使用します。
  入：ポンと押す
  切：約 2 秒以上押したままにする

▶▶⏐	スキップ（とび越し）/ サーチ（早送り）
⏐◀◀	スキップ（とび越し）/ サーチ（早戻し）
＋ －	音量
m	モード切換え (SV-SD570V) メニュー表示 (SV-SD510)
S	オーディオ再生プレイリスト選択、 ボイス再生ファイル選択 (ボイス再生機能は SV-SD570V のみ)

- 表示パネルと操作ボタンは、しばらくすると省電力のため、表示が消えます。消えているときは、音量ボタン（＋・－）を押すか、HOLD スイッチを切り換えると、再度表示パネルが点灯します。
- 電池残量表示が点滅しているときは、操作ボタンは点灯しません。

音楽をＳＤカードで持ち

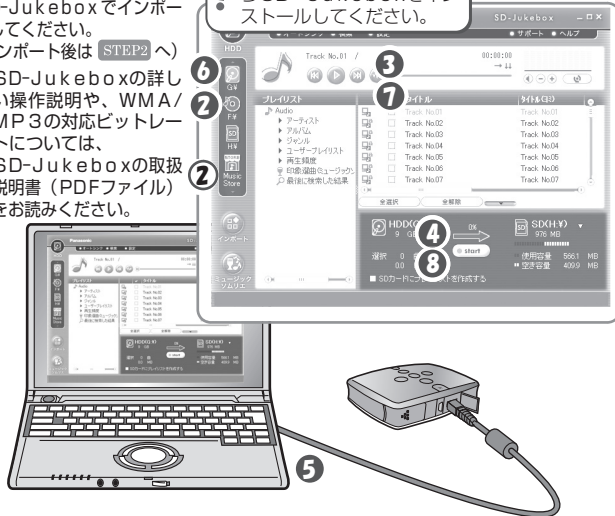
本機で再生できる音楽データはSDオーディオ規格に準拠したもののみです。

SDカードにSDオーディオ規格準拠の音楽データを書き込むためには、SDオーディオ規格準拠のパソコン用ソフトウェア（付属のSD-Jukeboxなど）または、SDオーディオ規格準拠のステレオシステムが必要です。

- 携帯電話からダウンロードした音楽データを再生する場合は、音楽データがSDオーディオ規格に準拠しているかご確認ください。

パソコンをお持ちの方

WMA/MP３ファイルを取り込むには、まずSD-Jukeboxでインポートしてください。
（インポート後は STEP2 へ）

- SD-Jukeboxの詳しい操作説明や、WMA/MP３の対応ビットレートについては、SD-Jukeboxの取扱説明書（PDFファイル）をお読みください。

出そう！

SDステレオシステムをお持ちの方

SDステレオシステムをお持ちの方は、音楽CDからSDカードに録音することができます。

- SDステレオシステムでの録音方法は、SDステレオシステムの取扱説明書をお読みください。

STEP1 音楽CDからパソコンへ

音楽CDをパソコンに入れておく

1. SD-Jukeboxを起動する（P15）
2. をクリックする
3. 取り込む曲にチェックを付ける
4. start をクリックする

STEP1 Music StoreからDL（ダウンロード）

1. SD-Jukeboxを起動する（P15）
2. STORE をクリックする
3. 配信サイトを選ぶ
4. 曲を購入してダウンロードする

Music Storeの内容については、配信サイトにお問い合わせください。

STEP2 パソコンからSDカードへ

5. パソコンと本機をUSB接続ケーブルで接続する
6. をクリックする
7. 取り込む曲にチェックを付ける
8. start をクリックする

CD-ROM ソフトウェアの動作環境

対応パソコン
下記対応の OS（日本語版）がプリインストールされた IBM PC/AT またはその互換機
対応 OS（日本語版）
Microsoft® Windows® 2000 Professional Service Pack 2、3、4
Microsoft® Windows® XP Home Edition/Professional および Service Pack 1、2

CPU	Intel® Pentium® III 500 MHz 以上
メモリ	256 MB 以上
ディスプレイ	High Color（16 bit）以上 デスクトップ領域 800×600 以上 (1024×768 以上を推奨)
ハードディスク	150 MB 以上の空き容量 ● SD-Jukebox のみをインストールする場合、約 100 MB の空き容量が必要です。 ● Voice Editing のみをインストールする場合、約 50 MB の空き容量が必要です。 ● Windows®のバージョンや音声ファイルにより、別途空き容量が必要です。 ● Acrobat® Reader®（付属）をインストールする場合、別途約 25 MB の空き容量が必要です。 ● DirectX® 9.0b（付属）をインストールする場合、別途約 50 MB の空き容量が必要です。
必要なソフトウェア	DirectX® 8.1 以降、Internet Explorer 6 以降
サウンド	Windows 互換サウンドデバイス
ドライブ	CD-ROM ドライブ（デジタル録音対応　4 倍速以上） ● IEEE1394 で接続する CD-ROM ドライブでは動作しません。
インターフェース	USB 端子 ● USBハブおよびUSB延長ケーブルで接続した場合の動作は保証していません。
その他	インターネット接続環境 （CDDB 機能を利用する場合に必要）

- 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- NEC PC-98 シリーズとその互換機での動作は保証していません。
- 左ページ対応 OS 以外の Windows 環境での動作は保証していません。
- Windows® 3.1、Windows® 95、Windows® 98、Windows® 98SE、Windows® Me、Windows NT®および Macintosh には対応していません。
- OS のアップグレード環境での動作は保証していません。
- Voice Editing はマルチ CPU 環境に対応していません。
- マルチブート環境には対応していません。
- システム管理者権限 (Administrator) のユーザーのみで使用可能です。
- Voice Editing はマルチユーザーに対応していません。
- お客様が自作されたパソコンでの動作は保証していません。
- 64 ビット OS 搭載のパソコンには対応していません。
- ディスクレーベル面に“COMPACT disc DIGITAL AUDIO”のマークが入っていない音楽 CD の再生 / 録音には対応していません。
- 他のアプリケーションが同時に起動している場合は左ページ条件の限りではありません。
- パソコンの環境によっては録音ができなかったり、録音した音楽データが使えない等の不具合が発生する場合があります。お客様の音楽データの損失ならびにその他の直接 / 間接的な障害につきましては、当社および販売店等に故意または重過失がない限り、当社および販売店等はその責任を負いません。

Internet Explorer 6 以降がインストールされていないパソコンでは、下図の画面が表示されます。

SD-Jukeboxをインストールするには Internet Explorer 6以降が必要です。

「OK」をクリックしてインストールを終了し、Internet Explorer 6を インストールしたあとで、再度 SD-Jukebox のインストールをしてください。

SD-Jukebox を インストールする

SD-Jukebox は、音楽 CD の曲や音楽配信サービスで購入した曲をパソコンに録音して管理したり、録音した曲をSDカードに書き込んでSD オーディオプレーヤーで楽しむことのできるソフトウェアです。

- **インストールの前に、お使いのパソコンが動作環境（P10）を満たしているか確認してください。**
- **インストールの前に、他に起動しているアプリケーションをすべて終了してください。**
- **インストールが終了するまで本機をパソコンに接続しないでください。**
- **再インストール時にもシリアル番号が必要です。CD-ROM パッケージは紛失しないよう大切に保管してください。**

ご使用上の制限

SD-Jukebox は音楽文化の健全な発展と正当な購入者の権利を保護するため、暗号技術を利用した著作権保護技術が組み込まれています。このため、ご使用いただくにあたり下記の制限があります。

- SD-Jukebox は音楽データを暗号化してハードディスクに記録します。暗号化された音楽データを別のフォルダーやドライブ、他のパソコンに移動 / 複写して使用することはできません。
- ご使用の CPU ならびにハードディスクの固有情報を暗号化処理のために使用しております。そのため、どちらか一方でも交換すると、それ以前の音楽データが使用できなくなる場合があります。

すでにSD-Jukebox Ver4.0～Ver5.0をインストールされている方は

以下のいずれかの方法でアンインストール後、インストールしてください。

● パソコンのコントロールパネルからアンインストールする場合

SD-Jukebox の取扱説明書（PDF ファイル）をお読みください。アンインストール完了後、右ページの手順 2 から操作してインストールしてください。

● 付属の CD-ROM からアンインストールする場合

付属のCD-ROM をCD-ROM ドライブに入れて、「SD-Jukebox Ver.5.1 LE のインストール」をクリックすると、ファイル削除の確認画面が表示されます。「OK」を選ぶとアンインストールが始まります。アンインストール完了後、右ページの手順 3 からしてインストールしてください。

1 パソコンの電源を入れ、Windows を起動する

2 付属のCD-ROMをCD-ROM ドライブに入れる

- インストーラーが自動的に起動します。起動しない場合は、15 ページをお読みください。

3 「SD-Jukebox Ver.5.1 LE のインストール」をクリック

4 「次へ」をクリック

5 「使用許諾契約」画面をよく読んで、「はい」をクリック

- 「いいえ」をクリックすると、インストールできません。

6 名前とシリアル番号を入力して、「次へ」をクリック

- シリアル番号はCD-ROMパッケージの表面に記載されています。

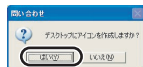
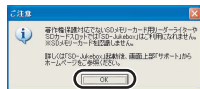
7 インストール先を選び、「次へ」をクリック

8 音楽データ保存先を選び、「次へ」をクリック

9 プログラムフォルダを選び、「次へ」をクリック

10 セットアップタイプを選び、「次へ」をクリック

- オートシンク機能でSDカードに曲を書き込む場合の、優先順位設定やプレイリスト作成設定ができます。
- インストールをしてから、設定を変更することもできます。オートシンク機能の詳しい説明は、SD-Jukebox の取扱説明書（PDF ファイル）をお読みください。

- 次に表示される画面で、「はい」をクリックしておくと、再起動後、デスクトップにアイコンが表示されます。

- お気をつけいただく内容が表示されますので、よく読んで「OK」をクリックしてください。

11 「完了」をクリックして終了する

● 「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選ぶと、パソコンが自動的に再起動し、インストールが完了します。

インストーラーが自動的に起動しない場合

1. Windows のスタートメニューで「ファイル名を指定して実行」をクリックする
2. 「＊:¥autorun.exe」と入力し、「OK」をクリックする
   - ＊は CD-ROM ドライブの ID です。
     （例：CD-ROM ドライブが D ドライブの場合「D:¥autorun.exe」）
   - 大文字・小文字のどちらでも文字入力できます。
   - 以下、画面の指示に従って続けてください。

SD-Jukebox を起動する

デスクトップのアイコンをダブルクリックする

◇ デスクトップアイコンが表示されていない場合は

Windows の「スタート」メニュー→「すべてのプログラム」→「Panasonic」→「SD-JukeboxV5」→「SD-JukeboxV5」の順にクリックする

SD-Jukebox の取扱説明書（PDF ファイル）について

SD-Jukebox の取扱説明書は、PDF ファイルとして同時にインストールされます。

● 取扱説明書（PDF ファイル）をお読みいただくには、Adobe Acrobat Reader が必要です。

◇ 取扱説明書（PDF ファイル）を読む

Windows の「スタート」メニュー→「すべてのプログラム」→「Panasonic」→「SD-JukeboxV5」→「SD-JukeboxV5 取扱説明書」の順にクリックする

◇ 取扱説明書（PDF ファイル）が開かない場合は

付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れ、画面の指示に従って Adobe Acrobat Reader をインストールしてください。

SV-SD570V のみ　Voice Editing をインストールする

Voice Editing は、本機で録音した音声ファイルをパソコンに転送して管理したり、編集することのできるソフトウェアです。

- **SV-SD510をお使いの方はVoice Editing をインストールしても、本機にボイス機能がないため、本機ではご使用になれません。**

すでに別エディションをお持ちの方は
お持ちの別エディションでもご使用できますが、編集機能の一部が使えない場合があります。別エディションをアップデートすると、付属のソフトウェアの機能も使えるようになりますのでアップデートをおすすめします。アップデート時期前などで、付属のソフトウェアをインストールする場合は、別エディションをアンインストールしてから、インストールしてください。アンインストールしても、音声ファイルは削除されませんが、IC レコーダーのTRC 形式の音声ファイルを再生することはできなくなります。

- パナセンスで、より高機能な Voice Editing の上位エディションをお買い求めいただけます。
  http://www.sense.panasonic.co.jp/

- **インストールの前に、お使いのパソコンが動作環境（P10）を満たしているか確認してください。**

- **インストールの前に、他に起動しているアプリケーションをすべて終了してください。**

- **インストールが終了するまで本機をパソコンに接続しないでください。**

1 パソコンの電源を入れ、Windows を起動する

2 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れる

- インストーラーが自動的に起動します。起動しない場合は、15 ページをお読みください。

3 「Voice Editing Ver.1.0 LE のインストール」をクリック

- インストール時の表示言語を選ぶ画面が表示されます。言語を選び、「OK」をクリックしてください。

4 「次へ」をクリック

5 「はい」をクリック

6 インストール先を選び、「次へ」をクリック

7 プログラムフォルダを選び、「次へ」をクリック

8 「完了」をクリックして終了する

- 「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選ぶと、パソコンが自動的に再起動し、インストールが完了します。

Voice Editing を起動する

デスクトップのアイコンをダブルクリックする

- **Windows の「スタート」メニューから起動することもできます。**

Windows の「スタート」メニュー→「すべてのプログラム」→「Panasonic」→「Voice Editing」→「Voice Editing」の順にクリックする

Voice Editing の取扱説明書（PDF ファイル）について

Voice Editingの取扱説明書は、PDFファイルとして同時にインストールされます。

- Windows 2000 をお使いの方は、インストール時に、アンインストールに関する画面が表示されることがありますが、そのままインストールを続けてください。
- 取扱説明書（PDF ファイル）をお読みいただくには、Adobe Acrobat Reader が必要です。

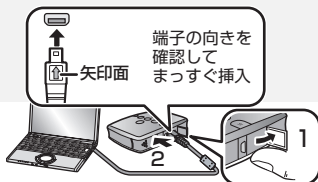
◇ 取扱説明書(PDF ファイル)を読む

Windows の「スタート」メニュー→「すべてのプログラム」→「Panasonic」→「Voice Editing」→「Voice Editing 取扱説明書」の順にクリックする

- 取扱説明書（PDF ファイル）が開かない場合は 15 ページを参照してください。

パソコンに接続する

充電式電池と SD カードを入れておいてください。（P20、24）

- USB 接続だけでは動作しません。必ず充電式電池を入れてください。
- **パソコンを起動させておく**

1 本機と USB 接続ケーブルをつなぐ

1. **USB 端子ふたを開ける**
2. **矢印面を上に向けて、USB 接続ケーブルをまっすぐ押し込む**
   - 斜めや裏向きにして無理に挿入すると、端子が変形して本機や接続する機器の故障の原因になります。

2 USB 接続ケーブルをパソコンに差し込む

- SD カードへの音楽の書き込みやプレイリストの作成、編集には、SD-Jukebox（付属）をお使いください。（P8）

- 「ACCESS」表示中に SD カードや USB接続ケーブルを抜き差ししたり、電池ふたを開けたりすると、SD カード内のデータが消えたり、壊れたりすることがあります。
- USB接続ケーブルは付属のものをお使いください。また、付属のケーブルは他の機器に使わないでください。
- USB 接続した本機がパソコン上で認識されない場合は、USB 接続ケーブルを抜き差ししてください。
- 本機とパソコンを接続中にパソコンを起動（再起動）したり、パソコンが省電力モードになると、パソコンが本機を認識しないことがあります。本機を取り外して再接続するか、パソコンを再起動してから本機を接続し直してください。
- 本機とパソコンを接続していると、パソコンが起動（再起動）しない場合があります。パソコンを起動（再起動）するときは、本機からUSB接続ケーブルを抜いておくことをおすすめします。
- 1 台のパソコンに 2 台以上のUSB機器を接続している場合や、USBハブ、延長ケーブルを使用する場合は、動作を保証しません。

USB 接続ケーブルを取り外す

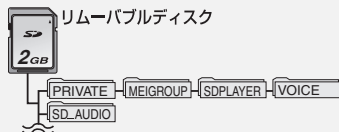
パソコンのタスクトレイにある［ ］アイコンをダブルクリックし、画面の指示に従って取り外してください。（OS の設定によっては表示されません）

データ保存機能

本機は USB リーダーライターとしても機能し、パソコンの外部デバイスとして認識されます。
そのため、音楽データ以外のパソコン内のデータをドラッグ ＆ ドロップで SD カードに保存できます。

- 音楽データの SD カードへの保存には、付属の SD-Jukebox をお使いください。

本機で使用した SD カードのフォルダー構造

リムーバブルディスク
2GB
PRIVATE
MEIGROUP
SDPLAYER
VOICE
SD_AUDIO

エクスプローラなどでこれらのフォルダーやフォルダー内のファイルの移動や削除などを行わないでください。本機で SD カード内のデータが認識されなくなります。

SD カードをフォーマットする

SD カードを正常に認識しない、または記録に失敗する場合、SD-Jukebox でフォーマットする必要があります。

- **フォーマットすると、SD カード内のすべてのデータが失われます。**

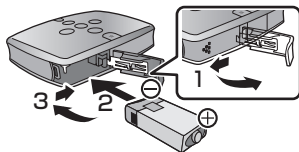
SD カードのフォーマットについては SD-Jukebox の取扱説明書（PDF ファイル）をお読みください。

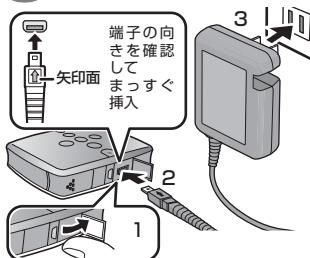
- SV-SD570V をお使いの方は本機で SD カードをフォーマットすることもできます。（P40）

- SDカードを他機でフォーマットすると、記録に時間がかかるようになる場合があります。また、パソコン（Windows標準のフォーマット機能）でフォーマットすると本機では使用できない場合があります。このようなときは、SD-Jukebox でフォーマットし直してください。詳しい操作説明は、SD-Jukebox の取扱説明書（PDF ファイル）をお読みください。

電源の準備

お買い上げ時は、まず充電してからお使いください。

1 充電式電池を入れる

1. 電池ふたを矢印の方向にずらして、開ける
2. 充電式電池を入れる
3. 電池ふたを閉じる

2 充電する

1. USB 端子ふたを開ける
2. 矢印面を上に向けて、AC アダプターのケーブルをまっすぐ差し込む
   - 斜めや裏向きにして無理に挿入すると、端子が変形して本機や接続する機器の故障の原因になります。
3. AC アダプターをコンセントに差し込む

	動作表示ランプ （電源を切った状態での充電時）
充電中	点滅（約 2 秒間隔）
充電完了	消灯

フル充電時間（AC アダプター使用）：
約 1 時間 30 分

- 再生中でも充電することはできますが、フル充電されません。フル充電するには電源を切ってください。(P22)
- 「電池残量がありません」と表示されている場合、10 分の充電で約 3 時間、オーディオ再生することができます。（充電式電池が過放電されている場合や、周囲の温度により、再生時間が短くなる場合があります）

◇ パソコンから充電する場合

パソコンと USB 接続中（P18）も充電式電池は充電されます。

	動作表示ランプ
充電中	点滅（約 2 秒間隔）
充電完了	点灯

- 動作表示ランプが点灯に変わると充電は完了しますが、フル充電はされません。フル充電するには AC アダプターで充電してください。

充電式電池を取り出すには

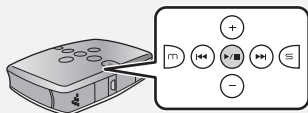
電池とび出し防止レバーを外側へずらしながら、電池挿入口を下にして、取り出してください。

- 長期間使用しないときは、本機から充電式電池を取り出しておいてください。取り出した充電式電池は付属の充電式電池ケースに入れておくことをおすすめします。
- 本機の設定を変更したときは、電源を切るまで充電式電池を取り出さないでください。（変更した設定が記憶されません）

- 電池残量を使い切らなくても、継ぎ足し充電が可能です。
- AC アダプターは本機専用です。他の機器には使用しないでください。また、他の機器の AC アダプターを本機に使用しないでください。

電源の準備
（つづき）

電源を入れる / 切る

- **AC アダプターだけでは動作しません。必ず充電式電池を入れてください。**

電源を入れる：▶/■ を押す

- 設定メニューの「SYSTEM」で、「操作音」を「オン」に設定していても（P33）、電源を入れたときは操作音は鳴りません。

電源を切る　：▶/■ を約２秒以上押したままにする

- 設定メニューの「SYSTEM」で、「操作音」を「オン」に設定している場合は（P33）操作音が鳴ります。
- モード選択画面（SV-SD570V のみ）や設定メニューを表示している間は、電源を切ることができません。

ご使用後はホールド機能を使うことをおすすめします。（P27）
かばんの中などに入れて持ち歩くときに、ボタンが押されて電源が入るのを防ぎます。

電池残量表示

表示パネルに電池の残量が表示されます。

- 点滅後、しばらくすると電源が切れます。

◇ 電池残量表示が点滅しているときは

- 操作ボタンの照明は点灯しません。
- 以下の操作は行えません。
  - — マーク登録 / 解除
  - — FM 録音※・ボイス録音※
  - — ファイル削除※
  - ※ SV-SD570V のみ
- 乾電池ケース（SV-SD570V のみ付属）を付ける、または AC アダプターにつなぎ直す、または充電式電池をフル充電してから操作を行ってください。

AC アダプターをつないで使う

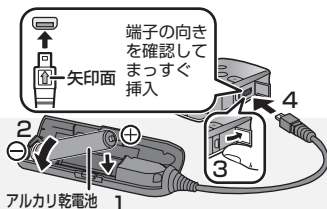
AC アダプターを電源として使用すると、連続して使用できます。

- **AC アダプターだけでは動作しません。必ず充電式電池を入れてください。**
- 再生中に AC アダプターをつなぐと、再生を停止しますが故障ではありません。再度、再生してください。（P28、41）
- FMチューナー受信中にACアダプターをつなぐと、しばらくの間、音が出なくなりますが故障ではありません。(SV-SD570V のみ)
- 録音中に AC アダプターをつなぐと、録音が停止しますが故障ではありません。再度、録音を開始してください。(P38、39)（SV-SD570V のみ）

- AC アダプターは本機専用です。他の機器には使用しないでください。また、他の機器の AC アダプターを本機に使用しないでください。

乾電池ケース※をつないで使う

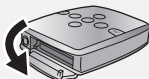
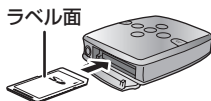
（※ SV-SD570V のみ付属）

乾電池ケースと充電式電池との併用をおすすめします。
充電式電池とアルカリ乾電池（単 3 形）を併用すると長時間使用できます。

1. **乾電池ケースのふたを開けて、アルカリ乾電池を入れる**
2. **乾電池ケースのふたを閉める**
3. **USB 端子ふたを開ける**
4. **矢印面を上に向けて、乾電池ケースのケーブルを USB 端子にまっすぐ差し込む**

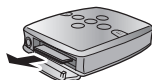
- 乾電池ケースは本機専用です。他の機器には使用しないでください。
- 乾電池ケースを使用しないときは、必ず本機から取り外しておいてください。

SD カードの出し入れ

● SD カードの出し入れは、本機の電源を切った状態で行ってください。

1 カードふたを開ける

2 SD カードを入れる

● ラベル面を上にして「カチッ」と音がするまでまっすぐ押し込んでください。

● マルチメディアカード(MultiMediaCard)は使用できません。
● 「カードにアクセス中です」表示中は、読み込み・書き込みを行っています。電源を切ったり、SD カードの取り出しを行うと、本機が正常に動作しなくなったり、SD カードの内容が破壊されたりすることがあります。

◇ SDカードを取り出すには
1. カードふたを開ける
2. SD カードを「カチッ」と音がするまで押す
3. まっすぐ引き出す

SD カードの書き込み禁止スイッチ

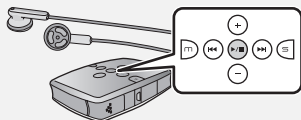
「LOCK」側にしておくと、データの書き込みや削除、フォーマットはできません。

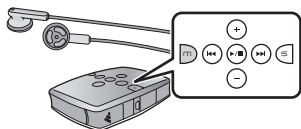
miniSD カード

miniSD カードは専用のアダプターに装着して、本機に挿入してください。

SV-SD570V の基本的な使いかた

電源を入れる

1 ▶/■ を押す

モードを切り換える

2 m を押す

3 ⏮、⏭ を押してモードを選び、▶/■ を押す

- **オーディオ（P28）**
  音楽ファイルを再生
- **FM チューナー（P35）**
  FM ラジオを聞く
- **ボイス再生（P41）**
  FM 録音、ボイス録音したファイルを再生
- **ボイス録音（P39）**
  声などを録音
- **オーディオ設定（P32）**
  選んでいるモードの各種設定
  - **FM チューナー設定（P36）**
  - **ボイス再生設定（P42）**
  - **ボイス録音設定（P40）**

オーディオ

FMチューナー

ボイス再生

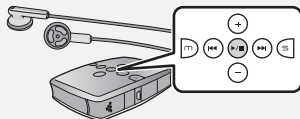
ボイス録音

オーディオ設定

- 音楽CDなどからSDカードへの音楽の記録は、SD-Jukebox を使ってください。WMA/MP3 ファイルをSDカードに直接転送しても本機では再生できません。音楽の記録のしかたについては 8 ページを参照してください。

SV-SD510 の 基本的な使いかた

電源を入れる / 再生する

▶/■ を押す

音楽を記録した SD カードを本機に入れている場合、電源を入れると、自動的に前回停止したところから再生します。

● 音楽CDなどからSDカードへの音楽の記録は、SD-Jukebox を使ってください。WMA/MP3 ファイルをSDカードに直接転送しても本機では再生できません。音楽の記録のしかたについては 8 ページを参照してください。

便利機能

リジューム機能

前回停止したところから再生します。

- SDカードの交換を行うと解除されます。
- ボイス再生したあとFM録音やボイス録音した場合は、ボイス再生モードのリジューム機能は解除され、録音したファイルから再生します。（SV-SD570Vのみ）

オートパワーオフ

節電のため、オーディオモード、ボイス再生モード※で停止状態が1分以上、ボイス録音モード※で 10 分以上録音停止状態が続くと、自動的に電源が切れます。

- オーディオモード、ボイス再生モード※でオートパワーオフしたときは、▶/■を押すともう一度電源が入り、自動的に前回停止したところから再生します。

※ SV-SD570V のみ

ホールド機能

HOLD スイッチを［▲］の方向に切り換えると、「HOLD」が表示され、ボタン操作を受け付けなくなります。再生が中断するなどの誤操作防止になります。また、ご使用後、かばんの中などに入れて持ち歩くときに、ボタンが押されて電源が入るのを防ぎます。

HOLD

- 解除するときは、HOLD スイッチを元の位置に戻してください。

音量調整（0～25まで）

大きくする：
＋ を押す

VOL IIIIIII.................. 8
1/6
▶ OUT!JoJo/

小さくする：
– を押す

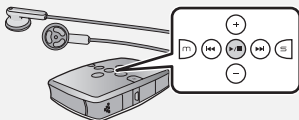
操作音

設定メニューの「SYSTEM」で、「操作音」を「オン」に設定すると(P33)、音で操作をお知らせします。（お買い上げ時は「オン」です）

ピッピッ	早送り/スキップ(▶▶I 方向)
ピッピッピッ	早戻し/スキップ(I◀◀ 方向)
ピピピッ	設定メニュー項目などで最後（先頭）の項目を表示したあと、先頭（最後）の項目に戻る場合
ピッピー	電源を切った場合
ピッ	再生など上記以外の操作をした場合

- 「オン」に設定していても、電源を入れたときは操作音は鳴りません。
- 「オン」に設定すると、FM チューナー受信中や、ボイス再生時にボタン操作をすると、音が途切れます。途切れないようにするには、「オフ」に設定してください。（SV-SD570V のみ）

SD オーディオを聞く（オーディオモード）

- 音楽を記録した SD カードを本機に入れておく
- ステレオインサイドホンを奥までしっかり差し込んでおく
- ▶/■を押して電源を入れておく

【SV-SD570V をお使いの場合】

1 「オーディオ」モードにする （P25）

2 ▶/■ を押して再生する

オーディオモードで電源を切った場合、次に電源を入れると、自動的に前回停止したところから再生します。

【SV-SD510 をお使いの場合】

1 電源を入れて再生する

電源を入れると、自動的に前回停止したところから再生します。

■ 再生中の操作

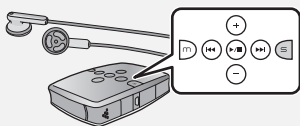
停止	▶/■ を押す
とび越し（スキップ）	⏮、⏭ をポンと押す
早戻し / 早送り（サーチ）	⏮、⏭ を押したままにする

■ 停止中の操作

⏮ を押すと、前の曲もしくは曲の先頭が、⏭ を押すと次の曲が選ばれます。▶/■ を押して再生してください。

- SD カードに記録した曲を選んで削除することはできません。SD-Jukebox やSDステレオシステムで削除してください。SD-Jukebox で削除する場合、詳しい操作説明は SD-Jukebox の取扱説明書（PDF ファイル）をお読みください。

再生する曲を選ぶ

S を押す

50音検索

⏮、⏭ を押して、分類項目を選び、▶/■ を押す

プレイリスト

- 分類項目は右記項目があります。
- 選んだ分類項目に、分類されたプレイリストがない場合は「該当なし」、マーク登録曲がない場合は「マーク登録がありません」と表示されます。

◇「プレイリスト」を選んだ場合など、さらに選択項目がある場合は

手順 2 のあと、+、−を押して再生したいプレイリストを選び、▶/■ を押してください。

プレイリスト
あめ

50 音検索

プレイリストを 50 音から検索して選べます。詳しい操作は 30 ページを参照してください。

全曲

すべての曲から選べます。

プレイリスト

SD-Jukebox で作成したプレイリスト（「アルバム」、「アーティスト」などの区別で作成されたプレイリストも含む）を選べます。

- S を約 2 秒以上押したままにしてプレイリストを表示することもできます。
- プレイリストの作りかたは、SD-Jukebox の取扱説明書（PDF ファイル）をお読みください。

マイベスト

当社製マイベスト機能搭載オーディオ機器でマイベストに分類された曲を選べます。

- マイベストに分類された曲がない場合は表示されません。
- 再生時、プレイリスト名は「マイベスト」と表示されます。

アーティスト

SD-Jukebox でアーティストに分類されたプレイリストから選べます。

アルバム

SD-Jukebox でアルバムに分類されたプレイリストから選べます。

印象

SD-Jukebox のソムリエ機能で分類されたプレイリストから選べます。

マーク登録曲

マーク登録（P34）した曲から選べます。

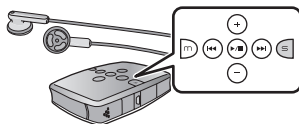
- 再生時、プレイリスト名は「マーク登録曲」と表示されます。

SDオーディオを聞く（つづき）

■ 50音検索機能

「50音検索」を選ぶと、すべてのプレイリストの中から50音順にプレイリストを表示して検索することができます。

- 50音検索機能は、プレイリストを元にした検索機能です。曲のタイトルからの検索はできません。

1 S を押す

2 ⏮、⏭ を押して、「50音検索」を選び、▶/■ を押す

3 ⏮、⏭ を押して、行を選ぶ

- 行は、あかさたな（ひらがな）…→ABC（アルファベット）…→ etc.（数字など）の順で表示されます。
- たとえば、「か」を選んだ場合、読みが「かきくけこ」で始まるプレイリストが表示されます。
- プレイリストが作成されていない行は選ぶことはできません。
- ⏮ を押すと、ひとつ前の行を選べます。

+、−を押して再生したいプレイリストを選び、▶/■ を押す

● +、−を押すたびに選んでいるプレイリストが変わります。

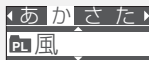
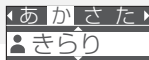
選んだ行の先頭のプレイリスト

あ か さ た
きらり

選んだ行の次のプレイリスト

あ か さ た
コスモス

選んだ行の最後のプレイリスト

さ た な は
ひとりぼっ

次の行の最初のプレイリスト

さ行、た行、な行にプレイリストがない場合、次にプレイリストの入っている行へスキップします。

● +を押すと、ひとつ前の行の最後のプレイリストが表示されます。

50 音検索は、SD-Jukebox の「プレイリスト（半角）」欄に入力された文字を元に検索します。

以下の場合は正しく検索できません。

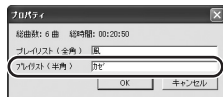
●「プレイリスト（半角）」欄に半角文字でプレイリストが入力されていない場合

●「プレイリスト（半角）」欄に間違って入力されている場合

1. SD-Jukebox を起動する（P15）

2. [SD] を選ぶ

3. プレイリストを右クリックして「プロパティ」を選ぶ

4.「プレイリスト（半角）」を確認し、修正する

● 半角文字でプレイリストが入力されていない場合、「etc.」の行に分類されます。

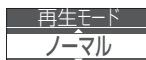
●「プレイリスト（全角）」欄に入力された文字では50音検索することはできません。

オーディオ設定メニュー

1. m を押す
2. (SV-SD570Vのみ) ◀◀、▶▶ を押して「オーディオ設定」を選び、▶/■を押す
3. ＋、－を押して項目を選び、▶/■ を押す
   - さらに選択項目があるときは繰り返してください。

再生モード

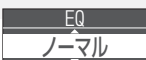
再生モード
ノーマル

- ノーマル　選択したプレイリスト内の曲を再生
- 1 曲リピート　1 曲を繰り返し再生
- 全曲リピート　選択したプレイリスト内のすべての曲を繰り返し再生
- A-B リピート　（再生中のみ）同一ファイル内のAB区間を繰り返し再生
- ランダム　選択したプレイリスト内のすべての曲を順不同に再生
- イントロ再生　（停止中のみ）選択したプレイリスト内の各曲の先頭 10 秒間を順に再生
  - お好みの曲をイントロ再生中に、▶/■ を押すと再生を開始し、MARK を押すとマーク登録（P34）できます。

◇「A-B リピート」の区間を設定するには

1. 再生中に「A-B リピート」を選ぶ
2. 開始点（A）で ▶/■ を押し、さらに同一曲内の終点（B）で ▶/■ を押す
   - 設定する区間は 1 秒以上必要です。
   - 曲の終端付近（約5秒間）を再生中は、開始点（A）を設定できない場合があります。
   - 設定した区間は、スキップや停止操作をすると解除されます。

EQ

EQ
ノーマル

- ノーマル　通常の音質
- S-XBS1　迫力ある重低音強調
- S-XBS2　S-XBS1 の効果をさらに強調
- トレイン　耳にやさしい音で、迷惑な音もれを防ぐ

音質効果

音質効果
効果オフ

- リ . マスター　圧縮録音時に失われた高音域を補完する効果
  - 高ビットレートでは効果が少ない場合があります。
- P. SRD1　パーソナルサラウンド（臨場感あふれる立体的な効果）
- P. SRD2　P. SRD1 をより強調
- 効果オフ　効果をかけない

●音楽ソースによっては、雑音が入ることがあります。この場合は「効果オフ」に設定してください。

表示項目

- **曲名 &PL 名**　曲名とプレイリスト名を表示
- **曲名 & アーティスト**　曲名とアーティスト名を表示
- **曲名 & 情報**　曲名と情報（圧縮 / 伸張方式）を表示
- **カウンター**　再生時間を表示

表示項目
曲名&PL名

マーク登録リセット

＋、－で「はい」を選ぶと、設定したマーク登録（P34）を解除します。

- 再生する曲を「マーク登録曲」に設定して再生しているときは（P29）、「マーク登録リセット」は表示されません。
- 本機でリセットできない場合、SD カード内の「PRIVATE」→「MEIGROUP」→「SDPLAYER」フォルダーにある「MARKLIST.LST」をパソコンを使って削除してください。

SYSTEM

本機の設定を変更できます。

操作音

- **オン**　操作ボタンを押したときに音でお知らせ
- **オフ**　操作音を鳴らさない

LANGUAGE

- **日本語**　日本語
- **ENGLISH**　英語

LANGUAGE
日本語

設定初期化 (停止中のみ)

※SV-SD570Vのみ

＋、－で「はい」を選ぶと、本機の設定がお買い上げ時の状態に戻ります。

- プリセット登録された放送局はすべて削除されます。※

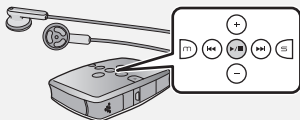
モード選択※	：オーディオ	**ステレオ / モノラル（チューナー）※**	：ステレオ
再生モード	：ノーマル	**チューニング方法※**	：マニュアル
EQ	：ノーマル	**FM 表示設定**	：FM 表示 1
音質効果	：効果オフ	**音量**	：12
表示項目	：曲名 &PL 名（オーディオ） ファイル名（ボイス再生※）		
操作音	：オン		

バージョン情報

本機のファームウェア（制御ソフト）バージョンを確認することができます。

お気に入りの曲を集める（マーク登録）

マーク登録しておくと、あとから簡単に選曲できます。

- **▶/■を押して電源を入れておく**

1　**「オーディオ」モードにする（P25）（SV-SD570V のみ）**

2　**再生中、または停止中に、マーク登録したい曲を選ぶ**

3　**MARK を押す**

「マーク登録しました」と表示されます。

- 最大 99 曲まで登録できます。

- 再生中にマーク登録（または解除）した場合、再生を停止したあとで SD カードに情報を書き込みますので、書き込みが終わるまでSDカードや充電式電池を取り出さないでください。（情報が更新されません）
- 曲の終端付近（約 5 秒間）を再生中は登録 / 解除できないことがあります。
- A-B リピート中は登録できません。
- A-B リピート中、イントロ再生中は解除できません。

マーク登録した曲を再生する

1　**MARK を約 2 秒以上押したままにする**

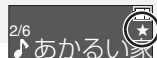
マーク登録曲
★OUT!JoJo

マーク登録された曲が表示されます。

2　**＋、−を押して再生する曲を選び、▶/■ を押す**

- マーク登録曲以外を再生するには、S を押して「全曲」などを選んでください。（P29）
- S を押して「マーク登録曲」を選んで再生することもできます。（P29）

マーク登録を解除する

1　**マーク登録した曲（★の付いている曲）を選ぶ**

2　**MARK を押す**

3　**＋、−を押して「はい」を選び、▶/■ を押す（5 秒以内）**

「マーク登録を解除しました」と表示されます。

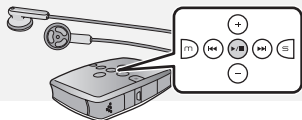
- オーディオ設定メニューの「マーク登録リセット」でマーク登録をすべて解除できます。（P33）

SV-SD570V のみ

FM 放送を聞く（FM チューナーモード）

- **ステレオインサイドホンを奥までしっかり差し込んでおく**

ステレオインサイドホンのコードはFM アンテナを兼ねていますので、伸ばしてお使いください。

- **▶/■ を押して電源を入れておく**

1 「FM チューナー」モードにする（P25）

2 ⏮、⏭ を押して選局する

- FM放送局とテレビ放送局（TV1～3ch の音声）を受信します。
- 自動選局するには、2秒以上押したままにします。離すと自動スクロールし、受信した放送局で自動停止します。

FM チューナーモードで、表示パネルの表示が点灯しているときに、雑音が入ることがあります。この場合、FM チューナー設定メニューの「FM 表示設定」を「FM 表示 2」に設定すると雑音を軽減できます。（P36）

「FM 表示 2」設定時は

- 音量を調整したり、HOLD スイッチを操作しても、表示はされません。（表示はされませんが、操作は有効です）また、音量調整時は、操作ボタンの照明も点灯しません。
- 表示パネルの表示を確認したいときは、S を押すと表示が点灯します。ホールド機能が働いているときは、ホールド機能を解除してから操作してください。
- ホールド機能が働いているときに、操作ボタンを押した場合、「HOLD」は表示されません。

- 付属品以外のヘッドホンなどを使用すると、コードの長さによっては受信感度が悪くなる場合があります。（付属のインサイドホン一体型ストラップホルダー使用時も受信感度が悪くなり、雑音が入ることがあります。ステレオインサイドホンをお使いください）
- パソコン等のデジタル機器の周辺では、雑音が多くなることがあります。
- FM チューナーモードでは、表示パネルや操作ボタンの照明の点灯時間が短くなります。
- FM チューナー設定メニュー（P36）表示中は、音が出なくなります。
- FMチューナー受信中にSDカードを入れると、雑音が数秒間入ることがあります。
- FM チューナー受信中に AC アダプターをつなぐと、しばらくの間、音が出なくなります。

SV-SD570V のみ

FM 放送を聞く（つづき）

FM チューナー設定メニュー

1. m を押す

2. ⏮、⏭ を押して「FM チューナー設定」を選び、▶/■ を押す

3. ＋、－を押して項目を選び、▶/■ を押す

● さらに選択項目があるときは繰り返してください。

EQ

- **ノーマル**　通常の音質
- **S-XBS**　重低音を強調

オートプリセット

右ページの「自動で放送局を登録したいときは（20 局まで）」を参照してください。

プリセット登録

右ページの「手動で放送局を登録したいときは（20 局まで）」を参照してください。

●「チューニング方法」を「マニュアル」に設定したときのみ表示されます。

CH削除

選んでいるプリセットした放送局を削除します。

＋、－で「はい」を選び、▶/■ を押して削除してください。

●「チューニング方法」を「プリセット」に設定したときのみ表示されます。

チューニング方法

- **マニュアル**　放送局（周波数）を手動で選ぶ（右ページ）
- **プリセット**　記憶させた放送局を選ぶ

ステレオ/モノラル

- **ステレオ**　オートステレオで受信（モノラル受信しても「MONO」は表示されません）
- **モノラル**　モノラルで受信（「MONO」が表示されます）

● 雑音が多い場合、「モノラル」に設定すると軽減されます。

● テレビ放送局受信中は表示されません。「モノラル」受信されます。

受信地域

- **日本**　日本
- **USA**　アメリカ
- **ヨーロッパ**　ヨーロッパ / アジア

● 設定を変更すると、プリセットで登録された放送局はすべて削除されます。

FM表示設定

- **FM 表示 1**　お買い上げ時の設定
- **FM 表示 2**　「FM 表示 1」よりも、表示をできるだけ点灯しないことで雑音を軽減する設定

SYSTEM

オーディオ設定メニューの「SYSTEM」を参照してください。（P33）

自動で放送局を登録したいときは（20 局まで）

1 **FMチューナー設定メニューから「オートプリセット」を選び、▶/■ を押す（左ページ）**

FMチューナー設定
オートプリセット

受信できる放送局を自動的に探し、順番に登録します。

- 登録すると、「1」などが表示されます。
- 終了すると、最初にメモリーした放送局が表示されます。「チューニング方法」は「プリセット」になります。

■ 登録した放送局を選局する

⏮、⏭ を押して選局できます。

- 選局に約40秒かかります。(受信状態によっては、それ以上かかる場合があります)
- 電波が弱いときや雑音が多いときは、登録できないことがあります。不要な周波数や雑音を記憶してしまうときは、「CH 削除」で削除し(左ページ)、手動で登録し直してください。

手動で放送局を登録したいときは（20 局まで）

1 **FMチューナー設定メニューから「チューニング方法」を選び、▶/■ を押す（左ページ）**

FMチューナー設定
チューニング方法

2 **＋、－を押して「マニュアル」を選び、▶/■ を押す**

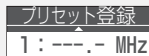
チューニング方法
マニュアル

3 **⏮、⏭ を押して登録したい放送局を受信する**

4 **FMチューナー設定メニューから「プリセット登録」を選び、▶/■ を押す（左ページ）**

SV-SD570V のみ

FM 放送を聞く（つづき）

5 **＋、－を押してチャンネルを選び、▶/■ を押して決定する**

プリセット登録
1：---.- MHz

● 続けて登録するときは、手順３～５を繰り返してください。

■ プリセット登録した放送局を選局する

登録したあと、「チューニング方法」を「プリセット」に設定すると、⏮、⏭ を押して選局できます。画面に「1」などが表示されます。

SV-SD570V のみ

FM 放送を録音する

● **空き容量のあるSDカードを入れておく**
● **▶/■ を押して電源を入れておく**

1 **FM 受信中に、MARK を押す**

FM MARK: 録音
m: キャンセル

2 **MARK を押す（1 分以内）**

録音が始まります。（▶/■またはMARKを押すと停止します）
録音しないときは、m を押してください。

● 録音中に m を押すたびに、表示が録音時間から残り時間、ファイル名と切り換わります。
● 「FM 表示設定」を「FM 表示 2」に設定しているときは、表示パネルの点灯時間が短くなります。表示が消えているときは動作表示ランプで動作状態を確認してください。

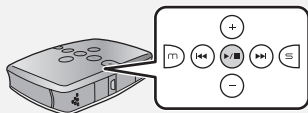
動作表示ランプ	動作状態
約 3 秒間隔で点滅	FM チューナー受信中
点灯	録音待機中
約 1 秒間隔で点滅	録音中

録音について（FM 録音・ボイス録音）

● 本機には時計機能がないため、本機で録音したファイルのVoice Editing上での録音日時は「2006/01/01 00:00」となります。
Voice Editing 上で、録音日時を変えることはできますが、この場合、WAVE ファイルから VM1 ファイルに変換する必要があります。詳しい操作説明は、Voice Editingの取扱説明書(PDFファイル)のタイトル編集の操作説明をお読みください。
● 録音中に AC アダプターをつなぐと、録音を停止します。再度録音を開始してください。
● 連続録音時間は、約 12 時間です。（録音開始から 12 時間経過すると、自動的に録音を停止します）
● 残り時間が 10 分未満になると動作表示ランプの点滅速度が速くなります。
● 音声はモノラルで録音されます。

SV-SD570V のみ

声を録音する（ボイス録音モード）

- 空き容量のある SD カードを入れておく
- ▶/■を押して電源を入れておく

■ ファイル名について

ファイル名「VOICE×××」などの「×××」には、録音するたびに「001」から「300」の数字が順番に割り当てられます。
途中でファイルを削除した場合でも、ファイル名は最後に割り当てられた番号の次の番号になります。「300」が割り当てられると、それ以上は録音できません。この場合は不要なファイルを削除して（P40、42）、「番号再設定」を行ってください。（P40）

1 「ボイス録音」モードにする（P25）

2 MARK を押し、マイクに向かって録音する

- 録音を停止するときは、▶/■ または MARK を押してください。

- 録音中に m を押すたびに、表示が録音時間から残り時間、ファイル名と切り換わります。
- 録音中はマイクをふさがないでください。

FM 録音について

- FM 録音した音声はボイス再生モード（P41）で再生してください。
- FM 録音時に音量を調整すると雑音が入ることがあります。
- FM 録音したファイルは「TUNER×××」のファイル名で保存されます。「TUNER001」～「TUNER300」までのファイルを記録できます。

ボイス録音について

- ボイス録音時は、録音レベルと録音モニター音量は自動的に設定されます。音量を調整することはできません。
- ボイス録音したファイルは「VOICE×××」のファイル名で保存されます。「VOICE001」～「VOICE300」までのファイルを記録できます。

ボイス録音設定メニュー

1. m を押す

2. ◀◀、▶▶ を押して「ボイス録音設定」を選び、▶/■ を押す

3. ＋、－を押して項目を選び、▶/■ を押す

● さらに選択項目があるときは繰り返してください。

番号再設定

カード内のボイスファイル名やチューナーファイル名をそれぞれ「001」から順番に付け直します。＋、－で「はい」を選び、▶/■ を押してください。
再度、確認の画面が表示されるので、＋、－で「はい」を選び、▶/■ を押してください。

全ファイル削除

本機で再生できるすべてのボイスファイルやチューナーファイルを削除します。
＋、－で「はい」を選び、▶/■ を押してください。
再度、確認の画面が表示されるので、＋、－で「はい」を選び、▶/■ を押してください。

● 削除するファイル数が多いと時間がかかります。フル充電された充電式電池または、AC アダプターを併用してください。

カードフォーマット

本機を使って SD カードをフォーマットすることができます。
フォーマットを行うと、SD カード内のすべてのデータが失われます。

1. ボイス録音設定メニューから「カードフォーマット」を選ぶ

2. ＋、－を押して「はい」を選び、▶/■ を押す（2 回繰り返す）

完了すると「フォーマット完了」と表示されます。

● フル充電された充電式電池または、AC アダプターを併用してください。

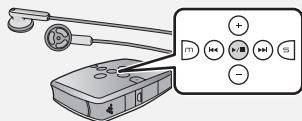
SYSTEM

オーディオ設定メニューの「SYSTEM」を参照してください。（P33）

SV-SD570V のみ

声を再生する（ボイス再生モード）

FM 録音、ボイス録音したファイルを再生できます。

● ▶/■ を押して電源を入れておく

■ 再生中の操作

停止	▶/■ を押す
とび越し（スキップ）	⏮、⏭ をポンと押す
早戻し / 早送り（サーチ）	⏮、⏭ を押したままにする

■ 停止中の操作

⏮ を押すと、前のファイルもしくはファイルの先頭が、⏭ を押すと次のファイルが選ばれます。▶/■ を押して再生してください。

1 「ボイス再生」モードにする（P25）

（P25）

● SD カード内に再生できるファイルがたくさんある場合、モード切り換え時や電源を入れたときなど、再生画面になるまでに時間がかかることがあります。

2 ▶/■ を押して再生する

● ボイス再生モードで電源を切った場合、次に電源を入れると、自動的に前回停止したところから再生します。

● ファイル名が「VOICE001」～「VOICE300」、「TUNER001」～「TUNER300」以外のファイルは、本機で再生や削除することはできません。
● 本機で録音した音声ファイルは、Voice Editing を使ってパソコンなどにも保存しておくことをおすすめします。
● 他の D-snap Audio で録音した音声ファイルは本機で再生できない場合があります。Voice Editing を使って音声ファイルの形式を変換してください。詳しくは Voice Editing の取扱説明書（PDF ファイル）をお読みください。

SV-SD570V のみ

声を再生する（つづき）

再生するファイルを選ぶ

1 **S を押す**

2 **⏮、⏭ を押して、再生したいファイルを選び、▶/■ を押す**

ALL 全ファイル
本機で再生可能なすべての音声ファイルを再生します。ボイスファイルを再生したあと、チューナーファイルを再生します。

VOICE ボイスファイル
本機でボイス録音したファイルなど、ファイル名が「VOICE×××」のファイルを再生します。

TUNER チューナーファイル
本機でFM録音したファイルなど、ファイル名が「TUNER×××」のファイルを再生します。

ボイス再生設定メニュー

1. **m を押す**
2. **⏮、⏭ を押して「ボイス再生設定」を選び、▶/■ を押す**
3. **＋、－を押して項目を選び、▶/■ を押す**
   - さらに選択項目があるときは繰り返してください。

再生モード
- **ノーマル**　選択したファイルから順番に再生
- **1 ファイルリピート**　1 ファイルを繰り返し再生
- **全ファイルリピート**　全ファイルを繰り返し再生
- **A-B リピート**　(再生中のみ)同一ファイル内のAB区間を繰り返し再生

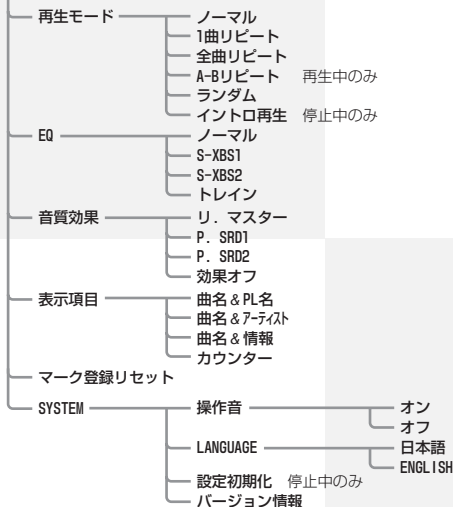
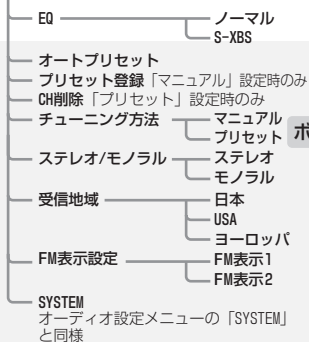
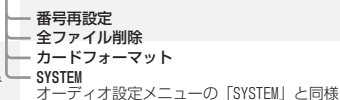
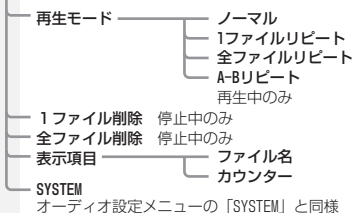
AB 区間の設定のしかたは 32 ページを参照してください。

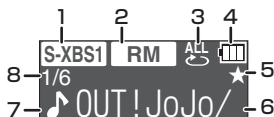
1ファイル削除（停止中のみ）
選んでいるファイルを削除します。＋、－で「はい」を選び、▶/■ を押してください。

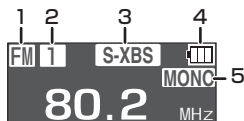
全ファイル削除（停止中のみ）
本機で再生できるすべてのボイスファイルやチューナーファイルを削除します。＋、－で「はい」を選び、▶/■ を押してください。再度、確認の画面が表示されるので、＋、－で「はい」を選び、▶/■ を押してください。
- 削除するファイル数が多いと時間がかかります。フル充電された充電式電池または、AC アダプターを併用してください。

表示項目
- **ファイル名**　ファイル名を表示
- **カウンター**　再生時間を表示

SYSTEM
オーディオ設定メニューの「SYSTEM」を参照してください。（P33）

設定メニュー一覧

※ SV-SD570V のみ

オーディオモード

1. EQ
   - S-XBS1 ：S-XBS1
   - S-XBS2 ：S-XBS2
   - TRAIN ：トレイン
2. 音質効果
   - RM ：リ．マスター
   - P.SRD1 ：P.SRD1
   - P.SRD2 ：P.SRD2
3. 再生モード
   - 1 ：1 曲リピート
   - ALL ：全曲リピート
   - AB ：A-B リピート
   - ：ランダム
   - INTRO ：イントロ
4. 電池残量
5. マーク登録
6. 表示項目
   「曲名 &PL 名」、
   「曲名 & アーティスト」
   「曲名 & 情報」
   「カウンター」
   - 表示項目が長い場合、スクロールして全体を表示したあと、先頭部分が表示されます。(全角文字と半角文字がある場合は、途中で文字が切れる場合があります)
   - オーディオ設定メニューの「表示項目」を「カウンター」にした場合は再生時間が表示されます。
7. 再生表示（再生中）：▶
   モード（停止中）：♪
8. 現在の曲 / 総曲数

FM チューナーモード (SV-SD570V のみ)

1. モード
2. プリセットチャンネル
3. EQ
   - S-XBS ：S-XBS
4. 電池残量
5. FM 音声
   - MONO ：モノラル

ボイス録音モード
（SV-SD570V のみ）

1. **モード**
2. **電池残量**
3. **録音残り時間**
4. **録音状態**
   - ●：録音中
   - ■：録音停止中

ボイス再生モード
（SV-SD570V のみ）

1. **モード**
2. **再生ファイル**
   - VOICE：ボイスファイル
   - TUNER：チューナーファイル
3. **再生モード**
   - 1：1 ファイルリピート
   - ALL：全ファイルリピート
   - AB：A-B リピート
4. **電池残量**
5. **ファイル名**
   - ボイス再生設定メニューの「表示項目」を「ファイル名」にした場合

   ファイルの再生時間
   - ボイス再生設定メニューの「表示項目」を「カウンター」にした場合
6. **再生表示**（再生中）：▶
   モード（停止中）：🎙
7. **現在のファイル / 総ファイル数**

■ こんな表示が出たら

カードにアクセス中です	● SD カードを抜かないでください。
パスワードでロックされています	● SD カードにパスワードがかかっていて、再生や録音ができません。パソコンでパスワードを解除してください。
HOLD	● ホールド状態です。（P27）
ERROR	● エラーです。SD カードの抜き差し、電源の入 / 切で直らないときは、電池の抜き差しをしてください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

	危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です）

	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠危険

充電式電池は専用充電器（本体）を使って充電する

本機以外で充電すると、電池の液もれや、発熱、破裂の原因になります。

- 充電式電池も必ず指定のものをご使用ください。

本機専用の充電式電池です この機器以外に使用しない

専用充電器を使用してください。

- **火への投入、加熱をしない**
- **はんだ付け、分解・改造をしない**

液もれ・発熱・破裂の原因になります。

⚠警告

分解・改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

- 内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。

ぬれた手で、AC アダプターの抜き差しはしない

感電の原因になります。

雷が鳴ったら、本機や AC アダプターのプラグに触れない

感電の原因になります。

SD メモリーカードや充電式電池は、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響をおよぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

AC アダプターのコード・プラグを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない

傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100 V ～ 240 V 以外での使用はしない

たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

乗り物を運転中に操作したり、ステレオインサイドホンやインサイドホン一体型ストラップホルダーで使わない

事故の原因になることがあります。

- 歩行中でも周囲の状況に十分ご注意ください。

反射光を人に当てない

本機の表面は鏡面仕上げになっており、直射日光などの強い光の下では、反射光が乗り物を運転中の人の目に入り、思わぬ事故を引き起こします。

- 本機の反射光に注意してお使いください。

⚠警告

電池は誤った使いかたをしない

- 乾電池は充電しない
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない
- ⊕と⊖を針金などで接続しない
- 金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない
- ⊕と⊖を逆に入れない
- 被覆のはがれた電池は使わない
- 乾電池の代用として充電式電池を使わない

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

充電式電池は誤った使いかたをしない

- ⊕と⊖を逆に入れない
- 外装チューブを破ったり、はがさない
- ⊕と⊖に金属物などを接触させない
- ネックレスやヘアピンなどといっしょに持ち運んだり保管しない

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

- 持ち運びや保管するときは、付属の充電式電池ケースに入れてください。

使い切った電池は、すぐに乾電池ケースから取り出す

そのままケースの中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

異常があったときは、充電式電池を外す

- **内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき**
- **落下などで外装ケースが破損したとき**
- **煙や異臭、異音が出たとき**

そのまま使うと、火災・感電の原因になります。

- 販売店にご相談ください。

AC アダプターのプラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

AC アダプターのプラグのほこりなどは定期的にとる

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

- AC アダプターを抜き、乾いた布でふいてください。

⚠警告

電池の液がもれたときは、素手で液をさわらず、以下の処置をする

- 液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

⚠注意

インサイドホン一体型ストラップホルダーの取り扱いに注意する

首にぶら下げて使用中に、誤って突起物に引っかかった場合、首を絞める恐れがあります。

ステレオインサイドホンやインサイドホン一体型ストラップホルダー使用時は音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

注意

異常に温度が高くなるところに置かない

特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温（約 60 ℃以上）になります。本機や充電式電池、AC アダプターなどを絶対に放置しないでください。外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

本機は乳幼児の手の届くところに置かない

充電式電池や SD カードが内蔵されています。万一取り出された場合は誤飲の恐れがあります。

ステレオインサイドホンやインサイドホン一体型ストラップホルダーなどが直接触れる耳や肌などに異常を感じたら使用を中止する

そのまま使用すると炎症やかぶれなどの原因になることがあります。

付属の AC アダプターを使う

指定外の AC アダプターを使用すると、火災や感電の原因になることがあります。

使用上のお願い

■ 本機について

付属のコード、ケーブルを使用してください。また、コード、ケーブルは延長しないでください。

本機を持ち運びするときは、落としたり、ぶつけたりしない、また、ズボンのポケットなどに入れない

- 強い衝撃が加わると、外装ケースが壊れたり、故障や誤動作の原因になります。

お手入れの際は、ベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤を使わない

- お手入れの際は、充電式電池を取り出してください。また、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。
- 溶剤を使うと外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがあります。
- 柔らかい乾いた布でほこりや指紋をふいてください。汚れがひどいときは、乾いた布を水にひたし、よく絞ってから汚れをふき、そのあと、乾いた布でふいてください。
- 台所用洗剤や化学ぞうきんは使用しないでください。

■ 動作表示ランプについて

※ SV-SD570V のみ

約 3 秒間隔で点滅：オーディオ再生中、FM チューナー受信中※、ボイス再生中※

約 1 秒間隔で点滅（約 0.5 秒点灯、約 0.5 秒消灯）：

マーク登録中、フォーマット中※、録音中※などのカード書き込み中

- 録音中に録音残り時間が 10 分未満になると、動作表示ランプの点滅が、通常の録音中の点滅よりも早くなります。

約 2 秒間隔で点滅：充電中（電源を切った状態での充電）

点灯：停止中、録音待機中※、USB 充電完了時

■ 充電式電池について

不要になった電池（バッテリー）は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

使用済み充電式電池の届け先

- 最寄りのリサイクル協力店へ
- 詳細は、有限責任中間法人 JBRC のホームページをご参照ください。
- ホームページ：http://www.jbrc.net/hp

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- ＋端子、－端子をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 被服をはがさないでください。
- 分解しないでください。

■ AC アダプターについて

機器を電源コンセントの近くに設置し、遮断装置（電源プラグ）へ容易に手が届くようにしてください。

- 必ず、付属の AC アダプターをお使いください。
- 使用後は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。（接続したままにしていると、AC アダプター単体で約 0.1 W の電力を消費しています）
- AC アダプター、充電式電池の端子部を汚さないでください。

故障防止のために本体・AC アダプター・乾電池ケース（SV-SD570V のみ付属）は、以下の場所で使用・保管しないでください。

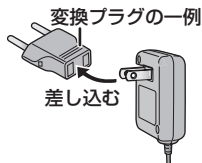
- 雨水、水滴がかかるところ
  - ・万一雨水や水滴、汗などが付着したときは、水をよく絞った布でふき、そのあと乾いた布でふいてください。
- 風呂場など湿気が多いところ
- 倉庫などほこりが多いところ
- 腐食性のガスなどが発生するところ

■ 海外で使用するには

AC アダプターは、電源電圧（100 V ～ 240 V）、電源周波数（50 Hz、60 Hz）でご使用いただけます。
市販の変圧器などを使用すると、故障する恐れがあります。

国、地域、滞在先によって電源コンセントの形状は異なります。海外旅行をされる場合は、その国、地域、滞在先に合ったプラグを準備してください。変換プラグは、お買い上げの販売店にご相談のうえ、お求めください。
充電のしかたは、国内と同じです。

AC アダプターは日本国内で使用することを前提として設計されており、海外旅行などでの一時使用では問題ありませんが、継続的な使用は避けてください。

- ご使用にならないときは変換プラグを AC コンセントから外してください。

■ SD カードについて

メモリーカードを廃棄 / 譲渡するときのお願い

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。
廃棄 / 譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

－このマークがある場合は－

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

この取扱説明書の印刷には、植物性
大豆油インキを使用しています。

この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

故障かな？

※SV-SD570V のみ

まず、下表でご確認ください。直らない場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。

操作できない	●ホールド状態になっていませんか？（P27） ●電池が消耗していませんか？（P22） （消耗していないときは、電池の抜き差しを行ってみてください） ●充電式電池や乾電池ケース※の端子が汚れていませんか？
充電しても再生時間が短い	●初めての充電や長時間未使用後の充電では短いことがあります。何回か使用すると戻ります。 ●充電しても再生時間が極端に短い場合は、充電式電池の寿命です。充電回数は約 300 回です。
聞こえない	●音量が最小になっていませんか？（P27） ●インサイドホンのプラグは奥まで入っていますか？（一度抜いて、再度差し込んでください） 特にインサイドホン一体型ストラップホルダーご使用時は、プラグが奥までしっかり入っているか確認してください。 ●プラグが汚れていませんか？
マーク登録 / 解除やFM 録音※、ボイス録音※などができない	●電池残量表示が点滅していませんか？（P22） AC アダプターをつなぐか充電式電池をフル充電してから操作を行ってください。（P20、23）
50音検索が正しくできない	●プレイリストが半角文字で正しく入力されていますか？（P31）
オーディオ再生できない	●本機で未対応のファイルを再生していませんか？（P8） ●SD-Jukebox を使って音楽ファイルを記録しましたか？（WMA/MP3 ファイルを SD カードに直接転送しても本機で再生できません）
1 曲目から順番に再生しない	●ランダム再生になっていませんか？（P32） ●リジューム機能が働いていませんか？（P27） ●再生する曲を「全曲」、再生するファイルを「全ファイル」※以外に選んでいませんか？（P29、42）
雑音が多い	●テレビや携帯電話などに近づけて使用していませんか？
SDカードが使えない	●SD カードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっていませんか？（P24） ●パソコンでフォーマット（FAT32 形式や NTFS 形式などに）しませんでしたか？ （本機※または SD-Jukebox でフォーマットしてください）

※SV-SD570V のみ

本体やACアダプターが熱い	●充電中は多少熱くなりますが、異常ではありません。
パソコンが本機を認識しない	●USB 接続ケーブルを抜き差ししてください。
パソコンとの接続中に、本機の「ACCESS」表示が消えない（動作表示ランプが点滅し続ける）	●NTFS 形式でフォーマットしたカードを本機に入れた場合、「Administrator（コンピューターの管理者）」（またはこれと同等の権限を持つユーザー名）にしてログオンし、「マイコンピュータ」から「リムーバブルディスク」アイコンを右クリックし、「取り出し」を選んでから本機とパソコンの接続を解除してください。
付属の CD-ROM のインストールができない	●お使いのパソコンが CD-ROM の動作環境に対応していますか？（P10）
FM チューナー録音にすぐ切り換わらない※	●FM チューナー録音のスタート画面が出るまでに時間がかかることがあります。
FM チューナーモードで雑音が入る※	●AC アダプターを接続すると雑音が入ったり、受信感度が悪くなることがあります。 ●受信感度が良くても、表示パネルの表示が点灯しているときは、雑音が入ることがあります。表示が消えると雑音は消えます。「FM 表示設定」を「FM 表示 2」に設定すると、表示をできるだけ点灯しないことで雑音を軽減できます。（P36） ●インサイドホン一体型ストラップホルダー使用時は雑音が入ることがあります。ステレオインサイドホンをお使いください。
ボイス録音中に音量操作できない※	●音量は自動的に設定されています。音量調整はできません。
ボイス再生で途中、音が小さくなる※	●録音中にボタン操作をすると、モニター音や録音音声が小さくなることがあります。
ボイス再生できない※	●他の D-snap Audio で録音した音声ファイルは本機で再生できない場合があります。Voice Editing を使って音声ファイルの形式を変換してください。詳しくは Voice Editing の取扱説明書（PDF ファイル）をお読みください。
本機で録音したファイルの録音日時がVoice Editing上で「2006/01/01/ 00:00」と表示される※	●本機には時計機能がないため、本機で録音したファイルのVoice Editing上での録音日時は「2006/01/01 00:00」と表示されます。（P38）

■ Initially set the LANGUAGE in SYSTEM to English

◇ Playing tracks (AUDIO mode)

1. Turn the unit on.
   (Press ▶/■)
2. **(SV-SD570V only)**
   Select **AUDIO**.
   (Press m →
   Press |◀◀ or ▶▶| →
   Press ▶/■)

   1/6
   ▶ OUT ! JoJo/
3. **(SV-SD570V only)**
   Start play.
   (Press ▶/■)
4. Adjust the volume. (0–25)
   (Press ＋ or －)

◇ Using the FM radio (FM TUNER mode) (SV-SD570V only)

1. Turn the unit on.
   (Press ▶/■)
2. Select **FM TUNER**.
   (Press m →
   Press |◀◀ or ▶▶| →
   Press ▶/■)

   FM
   80.2 MHz
3. Select the station.
   (Press |◀◀ or ▶▶|)
4. Adjust the volume. (0–25)
   (Press ＋ or －)

◇ Voice recording (VOICE REC mode) (SV-SD570V only)

1. Turn the unit on.
   (Press ▶/■)
2. Select **VOICE REC**.
   (Press m →
   Press |◀◀ or ▶▶| →
   Press ▶/■)

3. Start recording.
   (Press **MARK**)
4. Speak into the microphone.
5. Stop recording.
   (Press ▶/■ or **MARK**)

◇ Voice playing (VOICE PLAY mode) (SV-SD570V only)

1. Turn the unit on.
   (Press ▶/■)
2. Select **VOICE PLAY**.
   (Press m →
   Press |◀◀ or ▶▶| →
   Press ▶/■)

3. Start play.
   (Press ▶/■)
4. Adjust the volume. (0–25)
   (Press ＋ or －)

仕様

※1　SV-SD570V のみ

項目		内容
サンプリング周波数		**オーディオ**：32 kHz、44.1 kHz、48 kHz **ボイス**※1　：8 kHz
圧縮 / 伸長方式		**オーディオ**：AAC 方式、WMA 方式、MP3 方式 **ボイス**※1　：リニアPCM（16 bit）方式（WAVEファイル形式）
チャンネル数		**オーディオ、FM チューナー受信**※1　：ステレオ /2 ch **ボイス録音再生**※1**、FM チューナー録音**※1　：モノラル /1 ch
周波数特性		**オーディオ**：20 Hz ～ 20,000 Hz（＋ 0 dB、－ 6 dB） **ボイス**※1　：120 Hz ～ 3,000 Hz
受信周波数帯域※1		76 MHz～90 MHz（100 kHzステップ）、TV 1 ch～3 ch
音声入力※1		モノラルマイクロホン（内蔵）
音声出力		3.3 mW+3.3 mW（16 Ω、∅3.5 mm ステレオミニジャック）
電源	充電式電池	DC 1.2 V
	乾電池ケース※1	DC 1.5 V（単 3 形アルカリ乾電池× 1）
フル充電時間 （充電式電池：付属）	ACアダプター使用	約 1 時間 30 分
電池持続時間		**SD オーディオ連続再生** （当社製の SD カード、ステレオインサイドホン使用、EQ「ノーマル」、音質効果「効果オフ」、推奨ビットレート（AAC：96 kbps）） ● **充電式電池**：約 25 時間 ● **単 3 形乾電池**※1：約 100 時間 ● **充電式電池、単 3 形乾電池併用**※1：約 115 時間
		FM チューナー受信※1 ● **充電式電池**：約 8 時間
		FM チューナー録音※1 ● **充電式電池**：約 4.5 時間
		ボイス再生※1 ● **充電式電池**：約 20 時間
		ボイス録音※1 ● **充電式電池**：約 7 時間
対応 USB		USB 2.0（Full Speed）
AC アダプター		**入力**：AC 100 V －240 V、50/60 Hz、16 VA **出力**：DC 4.8 V、750 mA

使用温度範囲	0 ℃～ 40 ℃
充電温度範囲	0 ℃～ 40 ℃
寸法	**本体寸法**：幅 45.0 mm ×高さ 57.5 mm ×奥行き 15.0 mm（突起部除く） **最大外形寸法**：幅 45.5 mm ×高さ 57.5 mm ×奥行き 15.4 mm（JEITA）
質量	**SV-SD570V** 約 37.5 g（充電式電池含む）/ 約 25.5 g（充電式電池含まず） **SV-SD510** 約 37.0 g（充電式電池含む）/ 約 25.0 g（充電式電池含まず）
対応記録メディア	SD メモリーカード（8 MB ～ 2 GB まで使えます）

FM・ボイス録音時間のめやす

SD カードの容量	録音時間
32 MB	約 30 分
64 MB	約 1 時間
128 MB	約 2 時間
256 MB	約 4 時間
512 MB	約 8 時間
1 GB	約 16 時間
2 GB	約 33 時間

- 連続記録は 1 ファイルあたり 12 時間まで可能です。
- SD カードに音楽ファイルなどのデータが入っている場合は、録音時間は短くなります。

- この仕様は、性能向上のため変更することがあります。
- 電池持続時間は使用条件によって短くなる場合があります。
- 本機では、フォントデータの制限により表示できない文字があります。
  （表示できない文字は「_」と表示されます）
  表示可能文字　　日本語：JIS 第一水準 / 第二水準準拠
- Windows Media Audio 9 (WMA9)対応（WMA9のProfessional、Lossless、および MBR ※2 には対応していません）

※2　Multiple Bit Rate は、1 つのファイル内に複数の異なるビットレートで記録された音声を含む形式のことです。

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は・・・

- **修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！**
- **使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！**

保証書（裏表紙をご覧ください）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：
お買い上げ日から本体１年間
（「本体」にはソフトウェアの内容は含みません）

補修用性能部品の保有期間

当社は、この SD オーディオプレーヤーの補修用性能部品を、製造打ち切り後 6 年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

この説明書をよくお読みのうえ、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げの販売店へご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	SD オーディオプレーヤー
品　番	SV-SD570V/SV-SD510
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

●修理料金の仕組み

修理料金 は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い
松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.jp/support/

修理に関するご相談

ナショナル パナソニック　修 理 ご 相 談 窓 口

ナビダイヤル（全国共通番号）　**0570-087-087**

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話　フリーダイヤル　**0120-878-365**（パナは 365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は…　**06-6907-1187**

FAX　フリーダイヤル　**0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256 - 5444　**Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

ナショナル パナソニック 修理ご相談窓口

北海道地区

札幌 札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 ☎(011)894-1251	**帯広** 帯広市西20条北2丁目23-3 ☎(0155)33-8477	**函館** 函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内） ☎(0138)48-6631
旭川 旭川市2条通16丁目1166 ☎(0166)22-3011		

東北地区

青森 青森市大字浜田字豊田364 ☎(017)775-0326	**岩手** 盛岡市厨川5丁目1-43 ☎(019)645-6130	**山形** 山形市平清水1丁目1-75 ☎(023)641-8100
秋田 秋田市東通り2丁目1-7 ☎(050)5519-6348	**宮城** 仙台市宮城野区扇町7-4-18 ☎(022)387-1117	**福島** 郡山市亀田1丁目51-15 ☎(024)991-9308

首都圏地区

栃木 宇都宮市上戸祭3丁目3-19 ☎(028)689-2555	**埼玉** 桶川市赤堀2丁目4-2 ☎(048)728-8960	**山梨** 甲府市宝1丁目4-13 ☎(055)222-5171
群馬 前橋市箱田町325-1 ☎(027)254-2075	**千葉** 千葉市中央区末広5丁目9-5 ☎(043)208-6034	**神奈川** 横浜市港南区日野5丁目3-16 ☎(045)847-9720
茨城 つくば市筑穂3丁目15-3 ☎(029)864-8756	**東京** 東京都世田谷区宮坂2丁目26-17 ☎(03)5477-9780	**新潟** 新潟市東明1丁目8-14 ☎(025)286-0171

中部地区

石川 金沢市横川3丁目20 ☎(076)280-6608	**長野** 松本市寿北7丁目3-11 ☎(0263)86-9209	**岐阜** 岐阜市中鶉4丁目42 ☎(058)278-6720
富山 富山市根塚町1丁目1-4 ☎(076)424-2549	**静岡** 静岡市駿河区有東2丁目3-22 ☎(054)287-9000	**高山** 高山市花岡町3丁目82 ☎(0577)33-0613
福井 福井市問屋町2丁目14 ☎(0776)25-5001	**愛知** 名古屋市瑞穂区塩入町8-10 ☎(052)819-0225	**三重** 津市久居野村町字山神421 ☎(059)255-1380

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

ナショナル パナソニック 修理ご相談窓口

近畿地区

滋賀 栗東市霊仙寺1丁目1-48 ☎ (077)582-5021	**大阪** 大阪市北区本庄西1丁目1-7 ☎ (06)6359-6225	**和歌山** 和歌山市中島499-1 ☎ (073)475-2984
京都 京都市伏見区竹田中川原町71-4 ☎ (075)672-9636	**奈良** 大和郡山市筒井町800番地 ☎ (0743)59-2770	**兵庫** 神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6 ☎ (078)272-6645

中国地区

鳥取 鳥取市安長295-1 ☎ (0857)26-9695	**出雲** 出雲市渡橋町416 ☎ (0853)21-3133	**広島** 広島市西区南観音8丁目13-20 ☎ (082)295-5011
米子 米子市米原4丁目2-33 ☎ (0859)34-2129	**浜田** 浜田市下府町327-93 ☎ (0855)22-6629	**山口** 山口県吉敷郡小郡町下郷220-1 ☎ (083)973-2720
松江 松江市平成町182番地14 ☎ (0852)23-1128	**岡山** 岡山市田中138-110 ☎ (086)242-6236	

四国地区

香川 高松市勅使町152-2 ☎ (087)868-6388	**高知** 高知市仲田町2-16 ☎ (088)834-3142	**愛媛** 愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1 ☎ (089)905-7544
徳島 徳島市沖浜2丁目36 ☎ (088)624-0253		

九州地区

福岡 春日市春日公園3丁目48 ☎ (092)593-9036	**大分** 大分市萩原4丁目8-35 ☎ (097)556-3815	**天草** 本渡市港町18-11 ☎ (0969)22-3125
佐賀 佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044 ☎ (0952)26-9151	**宮崎** 宮崎市本郷北方字草葉2099-2 ☎ (0985)63-1213	**鹿児島** 鹿児島市与次郎1丁目5-33 ☎ (099)250-5657
長崎 長崎市東町1949-1 ☎ (095)830-1658	**熊本** 熊本市健軍本町12-3 ☎ (096)367-6067	**大島** 名瀬市長浜町10-1 ☎ (0997)53-5101

沖縄地区

沖縄 浦添市城間4丁目23-11 ☎ (098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0106

さくいん

愛情点検　**長年ご使用のＡＣアダプターの点検を！**

こんな症状はありませんか	・電源コードやプラグが異常に熱い ・煙が出たり、異常なにおいや音がする ・水などの液体や異物が入った ・その他の異常や故障がある

▼

このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　月　日	品　番	SV-SD570V/ SV-SD510
販売店名	☎（　　）		
お客様相談窓口	☎（　　）		

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
   （イ）無料修理をご依頼になる場合には、商品に取扱説明書から切り離した本書を添えていただきお買い上げの販売店にお申しつけください。
   （ロ）お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、お近くの修理ご相談窓口にご連絡ください。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にご相談ください。
3. ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、お近くの修理ご相談窓口へご連絡ください。
4. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
   （イ）使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
   （ロ）お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
   （ハ）火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
   （ニ）車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
   （ホ）一般家庭用以外（例えば業務用など）に使用された場合の故障及び損傷
   （ヘ）本書のご添付がない場合
   （ト）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
   （チ）持込修理の対象商品を直接修理窓口へ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。また、出張修理を行った場合には、出張料はお客様の負担となります
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7. お近くのご相談窓口はP64、65をご参照ください。

修理メモ

※ お客様にご記入いただいた個人情報（保証書控）は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にお問い合わせください。
※ 保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については、取扱説明書のP62をご覧ください。
※ This warranty is valid only in Japan.

持込修理

Panasonic

パナソニック音響製品保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
ご記入いただきました個人情報の利用目的は本書裏面に記載しております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店にご相談ください。
詳細は裏面をご参照ください。

品　番	SV-SD570V / SV-SD510
保証期間	お買い上げ日から **本体1年間** （「本体」にはソフトウェアの内容は含みません）
※お買い上げ日	年　月　日
※お客様	ご住所 お名前　様 電　話　（　）　ー
※販売店	住所・氏名 電話　（　）　ー

松下電器産業株式会社
パナソニックAVCネットワークス社
ネットワーク事業グループ
〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号　TEL（06）6908-1551

ご販売店様へ　※印欄は必ず記入してお渡しください。